

科目名	保育内容研究 (こどもの造形表現)	教員名	竹田 洋一 竹田 えり子	開 講	保育科	2年次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>保育の現場において人形劇を通して子ども達の集中と心の開放を導くための学習をします。 実践できる人形劇(ひとりで行う片手使いの人形劇)を製作し演じる事で、子どもに届く発声法や集中のさせかたを、其々に体験しあい表現力を高めます。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数 : 1 単位、授業週数 : 1 5 回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . 人形劇の鑑賞 ・人形の種類 構造の説明</li> <li>2 . 人形作り デザインを考える</li> <li>3 . 首(かしら)を作る、</li> <li>4 . 首(かしら)を作る、布貼り</li> <li>5 . 首(かしら)を作る、目鼻・首くだを作る</li> <li>6 . 体を作る 布を裁ち縫い合わせる</li> <li>7 . 体を作る 縫い合わせる</li> <li>8 . 体を作る 縫い合わせる</li> <li>9 . 人形を組み立てる</li> <li>10 . 人形を組み立てる</li> <li>11 . 仕上げる</li> <li>12 . 仕上げる</li> <li>13 . 演技・人形操作</li> <li>14 . 演技・人形操作</li> <li>15 . 発表をする</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>何も無いところから人形劇として形にするまで、イメージを大切に個々に作業を進めます。 それぞれのイメージにそって段階的にアドバイスしながら、完成まで根気よく作り上げるよう指導します。 出来上がった人形をつかい、表現する楽しさを感じられるように指導する。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>人形作りの集中度と完成度、及び発表へ向かう姿勢と表現力の豊かさによって評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>人形劇は瞬時に子どもの心をとらえ集中させることができます。人間の成長にもっとも大切である幼児期の子ども達にとって心豊かな保育をめざして人形劇を創り上げましょう。</p>							
<p>・使用教材</p>							